

# 卓話

平成 20 年 2 月 19 日

## 頑張るプログラム（子育て支援と基盤整備）

羽島市長 白木 義春様

### 羽島市の行政改革の取り組み

◎職員定数の削減◎指定管理者制度の導入◎市単独補助金全ての見直し◎敬老会祝い金の節目支給◎使用料・手数料の見直し（職員駐車場の有料化を含む）◎市内全（9 箇所）出張所機能の廃止とコミュニティセンター化◎葬祭具貸出しの廃止◎事務事業の見直し◎市政懇談会の開催広域連携の推進◎情報公開条例の改正



### 子育て支援の取り組み（人口増加につなげる）

- ・地域子育て支援拠点事業（児童館型）【新規】  
子育ての不安を解消するため、乳幼児を持つ親と子が気軽に集い交流を図りボランティアを活用し、親の育児不安・負担感を緩和し支援する。
- ・ブックスタート事業【新規】  
乳幼児健診時に、絵本などが入ったブックスタートバッグを説明のメッセージを添えて手渡す。  
放課後子ども教室推進事業【新規】  
文化省と厚労省が連携し、総合的な放課後対策事業「放課後子どもプラン」推進のため、新少子化対策重点施策として位置づけられた国庫補助事業。
- ・乳幼児医療費助成事業の拡充  
医療費助成の拡充を行うもので、外来は小学校卒業までに、入院は中学校卒業までに拡充する。  
小中学校施設耐震補強大規模改修事業  
耐震 2 次診断により、早急の耐震化が必要な施設（判定 C、D、E レベル）の耐震補強事業及び老朽化の進んだ施設の改修を計画的に実施する。
- ・正木小学校校舎増築事業  
児童数の増加や 35 人学級の実施により、20 年度に 4 教室の不足が見込まれるため校舎の増築をする。
- ・妊婦健診審査事業の拡充  
B 型肝炎検査を含む無料の一般健康診査を 2 回実施しているが、検査をさらに 1 回追加して実施する。
- ・病後児童保育事業  
病気回復期にあり入院治療の必要はないが、安静の必要な保育所に通所している児童を一時預かり、保護者を子育てと就労の両面から支援する。

事業費総額 970,505 千円（19 年度予算）

みなさんの子育てを応援します！

### 基盤整備と企業誘致の取り組み

- ・岐阜羽島駅北本郷土地区画整理事業【新規】  
駅北本郷土地区（23.5ha）の基盤整備を行う。また、併せて実施する都計道の整備により岐阜羽島駅周辺の活性化及び主要地方道大垣一宮線の渋滞を緩和する。この事業により岐阜羽島駅周辺地域全体が区画整理による面的整備の目処がつき、居住環境の改善とともに、活力に満ちた快適でうおいのあるまちづくりを行う。
- ・GNI（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ）構想参加【新規】  
東海三県の自治体や経済界が連携し、「グレーター・ナゴヤ」のブランド名で海外企業に地域の優位性をアピール。外国企業による企業進出を図るとともに「GNI 協議会」に参加する国内企業等にも羽島市への関心を持ってもらう。
- ・岐阜羽島インター南部東地区計画事業  
18 年度に都計決定したインター南部東地区（22ha）において、地区計画制度を活用した公共施設の整備を行い、企業進出を誘導する。  
岐阜羽島インター北土地区画整理事業  
平成 12 年度からの継続事業で引き続き街づくりを進め、18 年度に事業完了する駅東地区と一体的な整備を図ることにより、広域交通拠点性を生かした新たな都市核の創出を図る。（A=23.3ha）
- ・工場設置奨励事業  
企業立地を促進するため必要な奨励措置を講じ、産業振興の促進や雇用の創出を図り、市政の進展に寄与する。
- ・ワークショップ岐阜羽島運営事業  
ソフトウェア・情報・通信産業などの高度な技術力を持ち研究開発成果の企業化をめざし、新分野へ進出しようとする企業・個人などに対する支援・育成のための施設。

事業費総額 1,048,821 千円（19 年度予算）

産業振興に一生懸命頑張ります！